

令和8年度 第1回能勢町社会教育委員会 議事録

○開催日時及び場所

日時 令和8年5月28日（木） 午後2時00分～4時15分

場所 役場本館 会議室2

○出席者

委員長：田畑良信

副委員長：向井幸一

委員：須見裕美、天満和久

○欠席者

委員：中村信行、新田千佳、茂崎康弘

○事務局

教育委員会：教育長 辻新造 教育次長 百々孝之 課長 奥成久、係長 田畑尚利

次第

○委嘱式

○あいさつ

○案件

1. 委員長及び副委員長の選出について
2. 令和7年度事業報告について
3. 令和8年度生涯学習課関係事業予定について

○その他

- ・新図書館基本構想（案）について
 - ・能勢町教育大綱について
 - ・近畿地区社会教育研究大会（大阪大会）について
-

教育長

（委嘱式）

挨拶

事務局

令和8年度第1回能勢町社会教育委員会を開会させていただきます。本日の議事進行については、案件1の委員長及び副委員長の選出が終わるまでの間は事務局で進めさせていただきます。

事務局

それでは、案件1の委員長及び副委員長の選出について進めさせていただきます。

事務局	本委員会の規約等において委員長等の設置についての規定はございませんが、慣例で委員長及び副委員長の選出をいただいております。選出方法については特段の取り決めはございません。まず、委員長について立候補者があれば挙手願います。 (挙手なし)
事務局	立候補者が無ければ、事務局から推薦してよろしいでしょうか。 (異議なしの声)
事務局	それでは昨年度に引き続き、田畑委員をご推薦したいと思います。
委員	(異議なし)
事務局	田畑委員、委員長就任をお受けいただけますか。
委員	お引き受けいたします。どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	次に、副委員長の選出にあたり、立候補者があれば挙手願います。 (挙手なし)
事務局	立候補者がいらっしゃらないので、田畑委員長からご推薦をお願いします。
委員長	それでは、向井委員を副委員長に推薦いたします。
事務局	向井委員、ご推薦がありましたが副委員長にご就任いただけますか。
委員	承知いたしました。お引き受けいたします。
事務局	それでは、委員長には田畑委員、副委員長には向井委員のご就任が

	決まりました。今後2年間よろしくお願いいたします。
事務局	それでは、案件1を終了いたしまして、委員長に就任いただきました田畑委員長より一言ご挨拶をお願いいたします。
委員長	(あいさつ)
事務局	それでは、以後の議事進行につきましては、田畑委員長にお願いするところではございますが、案件に移ります前に社会教育委員の活動について事務局から説明させていただきます。 (今年度の社会教育委員の活動について、能勢町社会教育委員設置に関する条例及び能勢町生涯学習推進指針により説明) それでは、以降の議事進行につきましては、委員長よろしくお願いいたします。
委員長	それでは、案件2の令和7年度生涯学習課関係事業報告について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(令和7年度生涯学習課関係事業報告について、資料に基づき説明)
委員長	それでは、各委員から確認されたいことやご意見があればご発言ください。
委員	芸術文化祭のステージの部を、のせてっぺんフェスティバルと共催された際の参加者4,300人の町内町外の参加割合は分かりますか。町外の方がどのくらい能勢に魅力を感じているのかなと思いましたので質問します。
事務局	元々能勢くりまつりからてっぺんフェスティバルになった関係からか栗や農産物の購入にあたっては町外の方も多く来られています。前は6年ぶりに商工会青年部が花火大会も実施したことから昨年度の3,000人から増加し、町内に限らず町外の方も多かったとの報告を受けておりますが、町内町外の割合は把握できておりませ

委員

ん。

なぜこのようなことをお聞きしたかといえば、町内にどのくらい人を誘致する目的を明確にして戦略的に行われている事業なのかということ。また、てっぺんという名前に変わったが、この名前の変更に戦略的な意味合いがあるのか、栗を出さず能勢のことを周知するためか、栗の時期だからあえて栗を出す必要も無いのから外したのか。

能勢という字を見たときに、かっこいい能勢、おしゃれな能勢、かわいらしい能勢みたいなものを感じる1つの方法として、ひらがなののせというのは柔らかく、かわいらしい感じを受けるし、漢字の能勢は勢いという字が入ることがかっこいい能勢になる。人を呼ぶときに能勢という字を、今年はひらがなで、また今年は漢字で行こうとか、色々あるかと思います。見た目の印象やデザインもありますが、能勢という名前が人を呼び寄せる力を持っているように感じるのでそれを利用しない手はないのではないかと思います。自分たちの中で能勢というものを改めて見て、格好が良いと思うならどう見せていくのかというような楽しみを町民の方と一緒に吸い上げていくような形で利用できればという感じです。窓を一つ置いておいてそこから景色を眺めるだけでお茶が飲める感覚は普通の町にはないと思う。そんなおしゃれな能勢も含みながら、どの方向から切り取って能勢を売り出していくのかということ、教育ではないかもしれないが、戦略的に考えてみたら面白いと思いました。

事務局

ありがとうございます。てっぺんフェスティバルは芸術文化祭と共催しており、てっぺんフェスティバル実行委員会に所属しています。今お聞きした意見や魅力の伝え方を、今後の能勢のてっぺんというところに魅力を置きつつ進めるよう担当課の方とも協議してまいります。

委員長

他にはないですか。

事務局

資料1の1ページにあります、ささゆりフェスタには委員もPTAの方で参画されておられました。少しこの時の感想をお聞かせください。

委員	令和7年度で4回目になりますが定着してきたように思います。舞台発表でダンスをされたり、先生方も新しい先生が入ってバンドをして下さるなど、まとまってきたように感じました。
事務局	ありがとうございます。それから、資料3ページの13番「むし！のせ！昆虫から見た能勢の自然展ふたたび」と5ページ夏休み体験講座「行くぞ、虫捕り」について、委員にご協力いただきました。ご参画いただいた時の感想やご意見を頂けたらと思います。
委員	ふたたびということで2回目をさせていただきました。夏休みの体験講座の狙いの中で、わざわざ役場の駐車場の溝といった場所で、何それと思わせておきながら、網を入れるとびっくりするくらいの多様性がある。珍しい虫もいて数も多い。あまり来られないかもしれませんが、町外から参加された方が見たときに能勢って何なん？と思ってもらいたくてその場所で行いました。地黄湿地や三草山では珍しい種類の虫がいても当たり前と思われるような所ではなく、駐車場の溝で危険もない。溝で人が流されることはないし、もっと広く使えば100人くらい呼べるくらいの魅力がある。私はずっと能勢に調査に来ていますが、この溝を欠かすことはないです。それくらい魅力がある溝なんです。それから、能勢のオニヤンマって飛んでいる高さが自然界で飛んでいる高さとは違って低いんです。普通オニヤンマって高いところに飛んでいるところが普通ですが、能勢はある程度の低さでもオニヤンマが飛んでいる。能勢で虫捕りをスタートしたら見つける努力をせずとも普通に取れるから虫捕りが下手になる。そんな能勢の豊かさを子どもたちに肌身に感じてもらえると思って企画しました。能勢に新たに住まわれた方は能勢の自然に魅力を感じて来られたと私は信じています。水路の虫捕りを1カ月に1回でも調査と称してできる。それだけのものが自分の身近な所にある能勢の凄さを誇りに思っしてほしい。羨ましくて仕方がないですから。能勢町の魅力を違う形で多くの世代が何か一緒にできる能勢を作っていけたらと思います。
事務局	資料の6ページ。大阪府総合体育大会豊能地区大会の軟式野球については委員長も関わって頂いておりましたので、感想や報告はございますか。

委員長	この、豊能地区大会は、豊能地区3市2町で実施するスポーツ大会で、軟式野球やテニス、卓球、バレーボール、剣道があり、能勢が会場となるのは剣道と軟式野球で、1年交代で開催します。今年は剣道が能勢町B & G海洋センターで開催されます。軟式野球は一般の部と40歳以上の部があり、豊能町を除く3市1町で、初日に1回戦、二日目に決勝があります。豊能地区大会の後に大阪府大会、中央大会とありこの大会は毎年行われています。
事務局	事務局からは以上です。
委員長	では資料2、令和8年度生涯学習課事業予定について事務局から説明願います。
事務局	(令和8年度生涯学習課事業予定について、資料に基づき説明)
委員長	説明が終わりました。ご意見などがありますか。
委員	生涯学習センターの利用状況の伸びは分かりますか。
事務局	令和7年度末現在の図書室の登録者数は1,577件です。このうち一般の方が1,478件、団体が18件、町外の方の登録が38件でした。次に書籍の貸出冊数32,564冊です。次に令和6年度の登録者1,530件、貸出冊数34,383冊となりますので約1,800件の減となっています。
委員長	ありがとうございます。このあと図書館の計画の方でどういう状況になっているのか報告もあります。他にご質問が無いようでしたら案件③は以上で終わりたいと思います。次にその他として、新図書館基本構想(案)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(新図書館基本構想(案)について、資料に基づき説明)
田畑委員長	説明が終わりました。ご意見などがありますか。
委員	のせのセッションについて、毎月集まるものではないと思います

	が、どれくらいの世代の方が入っていて、町外の方ものせのセッションに入られて意見をおっしゃられているのですか。
事務局	町内の方のみの参加で町外の方の参加はありません。年齢層ですが第1回の時に18歳の高校生の方が参加されていましたが2回目以降の参加はありません。後の年齢層的には30歳代から60歳代くらいの方の参加が多いです。
委員	女性が多いですか。
事務局	女性の方が多いです。
委員	町外の方を入れて作らないといけないものではないと思いますが、これを見たときに能勢が変わるというイメージは伝わるかと思いますが、どこまで公開されていますか。
事務局	今後公開していきたいと思います。
委員	新生涯学習施設の設置によって、町外の方がどのようなイメージを能勢に対して持たれて、能勢にこんな施設が新しく出来たから行ってみようとなる必要はないと思いますが、図書館が能勢にあって行く意味を考えたときに、ネットがかなり発達した中で何か調べようと思った場合、図書館である必要性を一般の方がどれだけ感じているのか、町内の方から必要とされなければならないが町外の人にも魅力を感じる部分をこの施設に落とし込んでいけたらより良いと思います。 なぜ町外のことばかり言うのかといえば、世界から認められた日本人が、日本で知られていないことがよくある。 能勢の良さについて能勢の人もうわかっている部分ではあっても、町内で何か起こしたときに町外からの評価はある意味大きいと思う。町外の方が来て本や情報以外の副次的産物みたいなものが、発生すると思うので、そういう部分をこういう発信の中に求めてもいいと思う。自分たちの中で作り上げる楽しさは必要と思うのですが、それだけでなくそれ以上のものをここに求める。私らの博物館でもイベントを打った時に、市外の人が入って大丈夫なんですか？と言われることがよくあり、現在でもそういう風に思われてい

る人がいます。町内で盛り上がれば盛り上がるほど、町外の人が憧れ、自分たちも中に入れてもらいたいと思うようには絶対なっていない。それでこそ、その良さが他からも伝わり、町外の視点などを新たに取り込めるということもまた多々あります。そういう発信を、この1枚の資料に盛り込んで、また違う考え方であったりというのも作っていただきたい。

また、余白の部分を作っていることが非常に良く、余白の部分はやはり残しておいたほうがいい。そこは新たな視点で色んなことが取り込める余地を残しておいてというぐらい能勢がゆとりを持っていたらいいいと思います。その一方で、町外からのニーズをどのように引き出し、引き込むかということを意識すればいいと思います。

事務局

このコンセプトで当然関係人口の拠点というのも目指していますので、町外の方にどれだけこの新施設に関心を持っていただくかということも意識していきたいと考えています。また、これまで、図書館は静かに本を読むという印象が強かったので、コンセプトとしては、集う、憩う、あるいはそこで初めての交流をしてみようというところも狙いとしています。子どもにとって、本を読まなくてもここに来たら遊べる、時間を過ごせる、安心できる場所になるということも目指しているところです。今はどちらかというと町内の方の声を聞かせてもらってまとめているところですが、関係人口を築いていくに当たってはそういう視点というのにも必要になると思います。これは図書館的な発想ですけども、ここに来れば何か新しいことを知ることができるというような拠点にもして行きたいと考えていますので、町外の方の視点をどのように取り入れていくかということとは考えていきたいと思っています。

事務局

生涯学習課の予算では無いですが、教育委員会では、今年度、教育の魅力発信事業という予算を計上してしまして、ここで、能勢の教育というのがどういうことをしていて、他所とは違う活動を抜き出して、プロの方にそこを編集していただき、移住ということも視野に入れて、これを戦略的に発信していこうと考えています。この背景には、学校再編から10年が経ちましたが、昨年度に学年によって

委員

は1クラスになってしまったところがありました。これまでは出生数は減少しておりましたけれども、転入により2クラスを維持出来ていましたので、2クラス編成ができるように、他所から人を呼び込むことも含めて、今年度から新たに取り組んでいくところです。ですので、このパンフレットも住民の方が見たときに、どんな図書館になるかというようなイメージの出来栄えという風に思っていますので、外に対しての見せ方というのは、発信事業なりを通じ、この施設のコンセプトも含めて継続的に発信していけたらと思っています。本を貸し出すというだけでなく、本物が1歩外に出たらあるというところが、能勢の最大の魅力でもあり、人そのものが能勢の強みでもあると思いますので、ここをいかに引き出して、魅力に感じてもらえるかというところを上手く伝えられるようにしていきたいと思います。

今言われたように、能勢町には本物がいっぱいあり、博物館も実際そうですが、博物館の標本というのは死んではいるけど本物なんですよ。だからそういう本物と、いわゆる文献上の実際のものなどがすぐそこで見える。わざわざ新たにどこかへ行かなくても、能勢で見られると言うのが一番の強みだと思います。自然に関わらず、文化的なことでも能勢の文化財を見られるものがあるので調べる、見られる。大きな意味合いがそこにあると思います。図書館との係わりの中では、今日も午前中に学校に行かせていただきましたが、すごく子どもの力強い作品が多く見られました。先生の影響だとか、何によるものかは分かりませんが、ここ数年芸術的なものというか、そういう視点がすごくあって、子ども達の力っていうのを感じる部分が展示の中にすごくありました。学校と子どもの、「能力」ということではないでしょうけど、そういったものを地域の人に開く機会として、なかなか難しいのはわかりますが学校をもう少しオープンにすることや、よりオープンという意味では図書館がオープンな場所になると思うので、学校の中のことも図書館で展開できるような総合的なミュージアムであってもいいのではないかなという気もしています。それに加えて、各地域に残されている旧学

	校も、いわゆる地域に残されたミュージアム的な存在として活用されて、メインとしては学校があり、図書館がある。そういったものを繋ぎ、より能勢の奥深さである地域の方の活躍の場や文化をそこで体感することや、実際のものもそこで見られるというような使い方をされたらどうかなあとと思います。
委員	おしゃれです。あの場所に、なにか洋館が建っているような雰囲気で見られるじゃないですか。色合いも含めていいなと思います。
教育長	ここ数年は 20 人程度、毎年転入生があり、転出もありますが、一定その数は能勢の魅力というのを感じて来られる方もおられて、それがなければ、もっと早く 1 クラス編成になってしまっていたところですが、それをなんとか持ちこたえられてきました。それでも今の 1 年生、2 年生は 1 クラス編成になってしまったというところなので、能勢町の移住に関する情報や、空き家調査をして、どれだけそのあたりの魅力が伝えられて、転居してくれる人がいるか。昨年のでっぺんフェスティバルの時も、能勢の方が同窓会で声をかけて友達と来られていたようです。昔、能勢にいた人たちにお声かけされている人が結構おられたので、ああいうことがまたきっかけになることも一つの方法として期待したいところです。また、庁舎の前が公園になるので、そこが 1 つの入り口になって、その先の繋ぎ方をどうしていくかというところで、またご意見等もいただきたいと思います。それに委員は町外に住まわれてからの能勢町をどう見ておられるかというのも、厳しいご意見も含めてお聞きしたいと思います。
委員	このワークショップは、見に行くことは可能ですか。
事務局	全然、来ていただいて構わないです。
委員	町外在住ですけど。

事務局	社会教育委員さんなので、そこを拒むことはないです。
委員	広いエリアのハブをどう繋げるかということが大事なのかなあと 思っています。昔ながらの人間なので、どうしても西と東の部分が 気になってしまって、学校も西に来て、図書館もこっちに作ってし まったときに東はどうなるのかということを、今後また、ご意見い ただいて、考えていただきたいなと思ったりはします。
委員長	旧庁舎の後が公園になるみたいですけど、大体予定ではいつ頃にで きる予定ですか。
委員	公園ができるんですか。
事務局	現在入札の準備中ですので、ホームページにも出てないですがけれ ども、旧庁舎周辺整備の計画としてシビックゾーンがありまして、図 書館の役割という話ではなく、公園も整備して、ここを外との、結 びの場にしていくという予定になっているので、うまく施設と連携 させたイベントなどを一緒に作り上げていければいいと思います。 図書館の方と同様に公園の方も、住民の方が参画して、何か面白い 仕掛けを作っていくっていうことも大事になるのではないかと思 っていますので、どんな感じで企画できるだろうかと考えている感 じです。町と教育委員会も一緒になって、住民の方と作っていくよ うな、イメージとしてはそういう広場ができると思っていたけれ ば。
教育長	委員のように能勢高校からおられたときからすると、随分と旧学校 が新しく変わって、それぞれの取り組みが進んだっていうところか ら、次は本当に住民の方々とか、盛り上げようとしている人たちが、 自発的に動かれている感じは、以前の時と比べて活発になっている 感じがします。
委員	のせのセッションには参加はもうできないのですか。

事務局

参加できます。

委員

参加もできるんですね。ちなみに親子の参加は難しいですか。

事務局

例えば小さいお子さんですか。

委員

小中学生。例えばこれを学校で、こんなんありますよって配ったら、親子の参加はできますか？生涯学習センターのことが気になっている人がいらっしゃるのです。

事務局

今は、お子さんがいらっしゃる方が参加される時に、司書に保育の資格を持っている職員がいますので、託児スペースを設けて、ワークショップの時間中はそこで預かっています。子どもへの周知という点では、この後お知らせする予定でしたが、7月18日から20日の3日間、この夏休みのイベントとして模擬的に新たな生涯学習センターを体験してもらう計画をしています。ダンボールなどで、これまでにワークショップでいただいた意見をもとにイメージを作り、模擬体験をしてもらえますので、そこに子どもさんが来てもらえれば、こういう図書館がイメージされているということを感じてもらえると思います。その中で、またこういうのができたらいいなというのを意見として頂ける機会もあります。

委員

興味のある人に参加の声掛けはしてもいいですか。

事務局

そうしていただければありがたいです。

委員

もうこれは決まっていることですか。

教育長

もうすぐ、案内ができると思います。

事務局

現在、内容が案として上がっていて、協力頂く方と調整をしている

	ところですが、18日から20日で開催することは決まっています。もう少し内容が固まった時には、周知させていただきます。
委員長	他にご意見ございませんか。それでは次の、教育大綱について事務局からお願いします。
事務局	(能勢町教育大綱について、資料に基づき説明)
委員長	それでは社会教育研究大会大阪大会について、事務局からお願いします。
事務局	(資料に基づき説明)
委員長	説明が終わりましたが、今回は大阪大会ということで、全国社会教育研究大会を兼ねての開催で、29日と30日ということですので、委員の皆さんもどちらかで、ご協力をお願いしたいと思います。また何か割当等は豊能地区3市2町で決められるということで、決まり次第、ご協力いただけたらと思いますのでよろしくお願いします。後はまた次回ですかね。
事務局	細かいところは各ブロックでの調整が決まりましたら次回の時に報告させてもらいたいと思います。 もう1件、事務局からですが、例年開催しております芸術文化祭は実行委員会を立ち上げて開催しています。これまで委員の中に社会教育委員さんからお1人選出して頂いているところではありますが、芸術文化祭実行委員会の規約の中で、対象として社会教育経験者が定められています。構成員の中には、今年度既に社会教育経験者が2名ございます。前回までは、社会委員の中に元々文化協会の会長であったことも含めまして、社会教育委員さんからもご参加頂いておりましたけども、冒頭説明させてもらいましたように、今後この社会教育委員においては、社会教育に関する企画立案等にご尽力頂くことに重きを置いていきたいと考えています。これまでは半ば必然的なところで社会教育委員さんの中からお1人を選んでいただいていたのですが、選出は必須ではございません。ただし、自主的

	に立候補くださる場合は、お願いしたいと思いますがいかがさせていただきます。
委員長	実行委員会の回数と役割は。
事務局	実行委員会は、大体例年 5 回程度です。
委員長	昼間の会議ですか。
事務局	そうです。反省会を含めて 5 回。それとイベント当日です。てっぺんフェスティバルの時にステージがあるので、その時に、スタッフとして参加してもらい、11 月 3 日の展示の時にも、同じく参加いただくという事をお願いしています。 現在のところ、他の社会教育経験者の方も、引き続き実行委員会には参加していただけることは確認が取れていますので、是が非でも参加をお願いしなければならない状況ではございません。今年度は、実行委員には社会教育委員からの選出はなしで構成させていただいてもよろしいでしょうか。 (異議なし)
委員長	案件の方は終わりました次回委員会についてお願いします。
事務局	次回の会議は全国社会教育研究大会大阪大会の進みによっては少し早めにお伝えしとく必要もあるかと思しますので、皆さんの都合が合うのであれば、8 月第 1 週あたりでお願いしたいなと思うんですが、ご都合いかがですか。ご都合がつかなければ、別の日をまた提示させていただきますが。
委員長	8 月 1 週目より前の週で出来ればお願いします。
事務局	7 月最終週ぐらいですか。他の委員の皆さんも 7 月最終週ぐらいでご都合がつくのであれば、そのあたりで開催したいと思いますが、

	皆さんいかがでしょうか。
委員	27 日しか空いていません。
事務局	27 日でいかがでしょうか。 (異議なし) それでは 7 月 27 日の 2 時からということでよろしいでしょうか。
委員	市内に勤めているので、もう少し後ろにしてもらえたらありがたいのですが。他の委員の方はそれでいいでしょうか。
事務局	事務局は何時でも構わないですが、委員の皆さんはどうですか。
委員	何時でも構いません。
事務局	それでは 27 日の午後 3 時からお願いします。次回の委員会は 7 月 27 日の午後 3 時からとさせていただきます。
副委員長	(あいさつ)
田畑委員長	それでは、以上で能勢町社会教育委員会を閉会いたします。 会議終了